

「オンリーワンを目指す大学の経営理念について」

日中大学フォーラム5月13日 宇都宮大学副学長 夏秋知英

国立大学法人宇都宮大学

• THE世界大学ランキング2018	1001+	学部学生	約4200
• THEアジア大学ランキング2018	301~350	大学院生	約 900
• THE日本大学ランキング2018	67	教職員	約 600



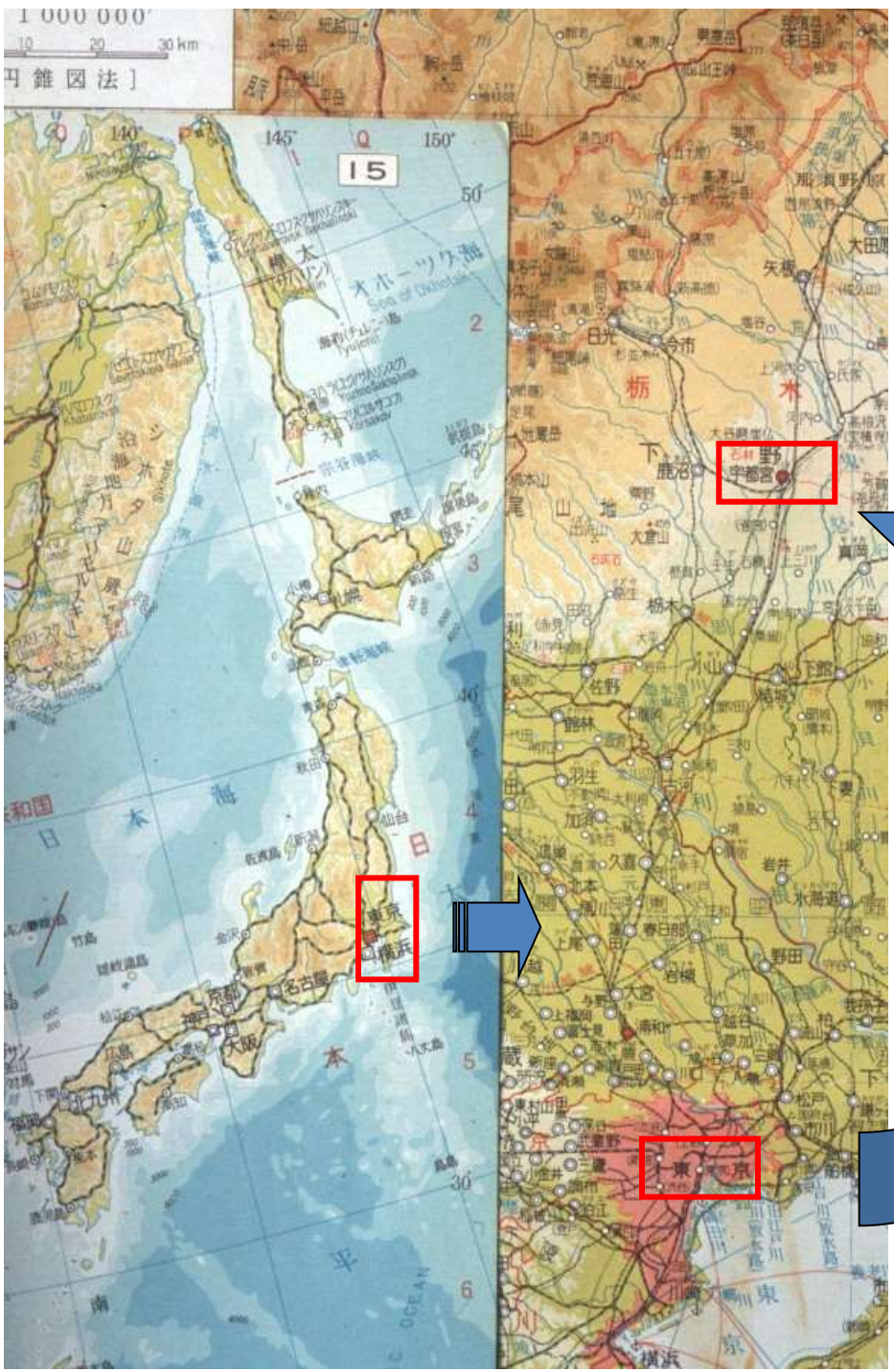
5学部

- 地域デザイン科学部
- 国際学部
- 教育学部
- 工学部
- 農学部

**どんなオンリーワンを
目指すのか？**

宇都宮大学のキャッチフレーズ

～豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ～



宇都宮市は東京の北、約110kmに位置する栃木県の県庁所在地で、人口約52万人です。宇都宮大学までは宇都宮駅から約2kmです。東京駅から宇都宮駅まで新幹線で50分です。



栃木県

世界遺産 日光



農業・林業が盛んで自然も豊か



温泉もたくさんあります



第二次産業も盛んで自動車、カメラ、電子部品などの工場が多い



大消費地の東京に近いので、栃木県からは工業製品だけでなく農産物も大量に東京圏へ出荷しています

農・工・融合的イノベーションを創出します。

地域ニーズにマッチした研究の推進

地域共生研究開発センターを中心に地域ニーズを積極的に把握し、ニーズに対応した研究を推進します。さらに、地域連携戦略機構を設置してニーズの把握とマッチング機能を強化します。

地域・社会のニーズに応じた組織改革

農学及び工学、そして融合分野における特色ある研究を基盤として、農学研究科、工学部の改組を行います。



イチゴ摘みロボット

農工融合分野の先端的研究の推進

地域イノベーション戦略支援プログラム^{*}による、地域の食の強み(いちご)を活かした世界トップレベルの研究など、農工融合分野の先端的研究を推進します。

※～とちぎ特産物の多面的高度利用によるイノベーション～フードバレーとちぎを目指して～(H26～H30)

地域イノベーションを創出する共同研究の推進

栃木県の“明日を拓く成長戦略”に並行してフードバレーやものづくりの分野における産官学金の連携を強化し、共同研究を進めていきます。



農学部附属農場



附属農場で開発した米のオリジナル品種「ゆうだい21」



大粒完熟イチゴ用新型容器「フレッシュル®」

**栃木県はイチゴの
生産量が日本一**

学内外の連携による共同研究・融合的研究の推進

企業との共同研究プロジェクトを拡大するとともに、オプティクス教育研究センターとバイオサイエンス教育研究センターの連携による特色ある融合的研究を推進します。

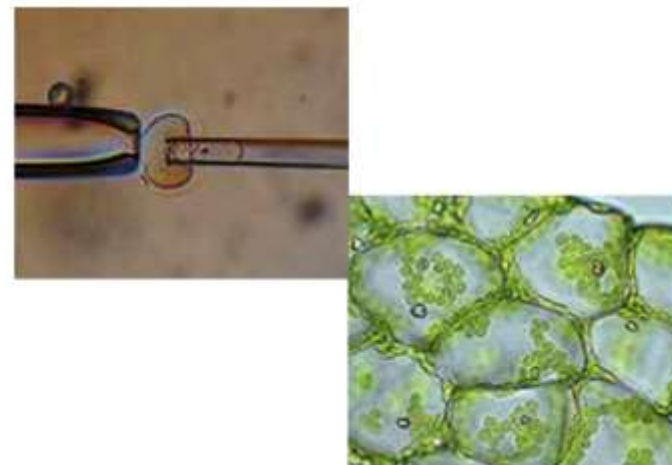
大学全体の研究活力の向上

地域共生研究開発センターのコーディネーターやURA*室等の協力を得ながら、競争的資金獲得など研究者への多様な支援を行います。

※University Research Administrator：研究資金の調達・管理、知的財産の管理・活用等をマネジメントする人材

革新的・萌芽的研究プロジェクトへの重点支援

独創的で学際的、融合的な特徴ある研究プロジェクト、若手の萌芽的研究プロジェクトを厳選し、全学的に支援します。



光工学と分子農学を研究の 中心に地域貢献を考えます



バイオサイエンス教育研究センター



オプティクス教育研究センター

重点
戦略 1

地域の“知”の拠点形成

重点
戦略 2

地域人材育成の基盤強化

重点
戦略 3

グローバルリーダーの育成

重点
戦略 4

地域イノベーションの創出

**宇都宮大学は地方大学ですので、地域＝
栃木県の特徴に根ざした研究と教育を進
めることでオンリーワンを目指します！**